

踏切通行時の一旦停止義務解除が安全性に与える影響

松本真吾 柴田徹

我が国では、道路交通法によって、踏切通行時の一旦停止義務が定められているが、これはヨーロッパやアメリカにおいては実施されておらず、日本・韓国等に特有の規則である。

今回、一旦停止義務が安全性に与える影響を、損害としてのリスクの変動の度合として定量的に評価した。

具体的には踏切出口での先詰まりにおける滞留に注目し、現状については踏切通行車両のビデオ解析、一旦停止解除時はドライビングシミュレータ実験により、先行車が出口で停止した場合に、踏切内で滞留する滞留可能性を評価した。

その結果、一旦停止義務を解除した場合、現状に比べて滞留が約2.5倍増加すると推定される。

(鉄道総研報告, 2008年7月号)

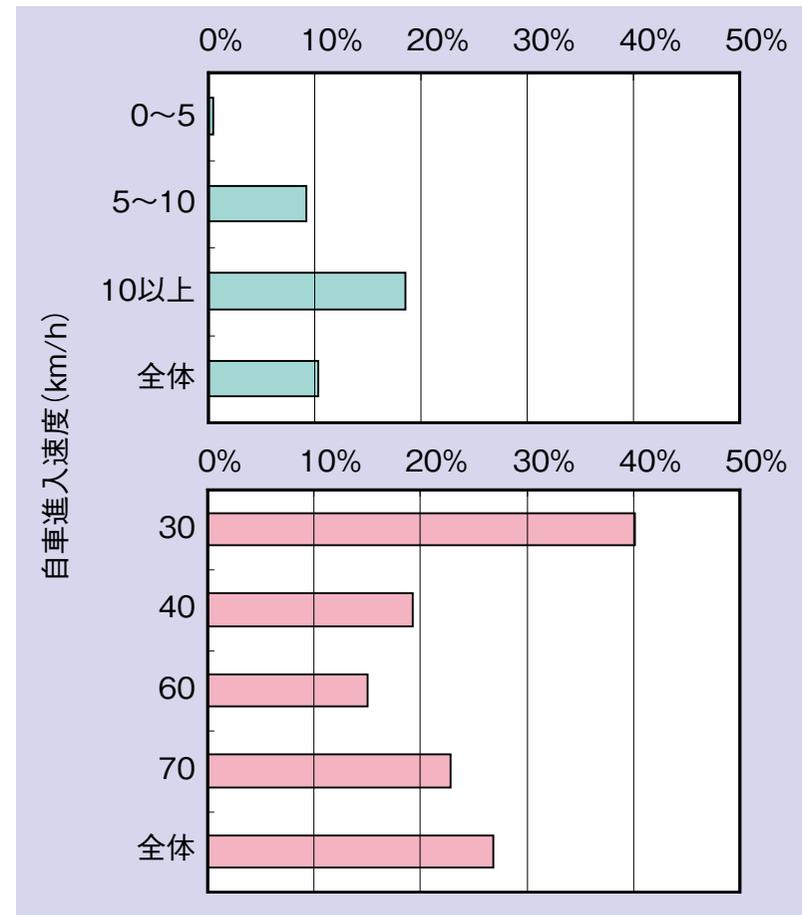


図 先行車停止時の滞留可能性 現状 (上) 及び一旦停止解除時 (下)